

第6学年 総合的な学習の時間（はばたき学習）学習指導案

授業者 山田 幹、 猿田 千穂子
柴田 省吾、 小室 真紀
研究協力者 細川 和仁

1 単元名 150周年のベストメモリー

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

5年生「ありがとうを伝えようⅡ」では、お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えるためにどうしたいか計画を立て、集会活動の運営を行った。「全員がリーダー」という思いで活動を進めたが、自分の活動に最後まで責任をもてない児童や友達に任せきりで自分からは行動できない児童が見られた。

今年度は、最高学年として様々なことを任される自由な空気に期待を膨らませ、やりたいことにチャレンジしていこうと積極的な子どもが多く見られる。一方、自分のよさやがんばりに自信がもてず、不安を感じていたり、意見を述べることを遠慮してしまったりして人任せにする子どもの姿も見られた。創立150周年という特別な年に最高学年として学校を盛り上げていこうという共通の目的の基に、自分の思いや願いの実現に妥協せずに課題解決に向けて生き生きと取り組む姿を期待する。

(2) 単元について

本単元のねらいは、「学校が歩んできた歴史の大きな節目となる年に、地域や卒業生など縁のある方々と触れ合いながら、仲間と協働して記念行事の企画・運営・実施に携わることを通して、愛校心を高めるとともに同窓の仲間との絆を深め、自他の将来に向けた展望を新たにすることである。「学校を盛り上げるためのプロジェクトを立ち上げ、実現に向けて課題を解決するために試行錯誤を重ねながらも進めていこうとすることにより、愛校心を深めていく姿」が「学びのものさし」を働かせている姿だと考える。

学校創立150周年という記念すべき1年を最高学年として迎えたことに喜びを感じ、より学校を盛り上げ思い出に残る1年にするために、自分たちのよさを思う存分発揮しながら、思い描くプロジェクトを立ち上げ、主体的に計画し実行に移す。そこで、「学校の150周年をお祝いし、学校を盛り上げていくためにはどんなことができるのか」という共通課題の下、個々がやってみたいことを出し合い、課題が同じ人同士で集まり、プロジェクトを立ち上げる。150周年記念運動会では、「全校の一体感を表現したい」「昔の運動会のリバイバルをしたい」という2つの観点から全校表現を行うこととした。また、「全校を巻き込み、お祝いムードで学校を盛り上げるイベント」「学校の歴史を辿りながら、過去・現在・未来を生きる子どもたちの物語を通して思いを伝える映画作り」「命をつなぐいちご（150）プロジェクト」など、自分が興味・関心があることから始めながら取り組み、先輩たちの思いをつないだり、今までにない取組にグレードアップしたりしていく。

さらに、思い思いにプロジェクトに向かう中で、「150年という歴史をつないできた『学校』という存在が、自分たちにとってどんな学び舎であったのか」を考え、「学校があるから友達ができた」「学校でみんなと学び合うことができるから、自分が成長できる」「附属小学校が200周年、300周年とこれからも続いてほしい」など、「愛校心」という概念を深めていくことにつなげる。また、企画を遂行するためのプレゼンテーションを作る計画力、相手を納得させるための表現力、企画をよりよくしようと高めていく対話力などが必要であり、どのプロジェクトも決して1人では実現できないことばかりである。そして、多様な考えを受け入れ「学びのものさし」を更新していくことも探究を支える軸となる。

これらを踏まえて「150周年のプロジェクトを楽しみながら、愛校心を高めるとともに、自他のがんばりやよさに気づき、互いの成長をこれからの生活に生かしていこうとする」という資質・能力を高めていくことを目指す。

(3) 指導について

「課題の設定」では、「学校の150周年をお祝い」することを通して自分の興味・関心や思いや願いを込めたプロジェクトになるように、「150周年」から連想する「人・もの・こと」のイメージマップ作りから始める。そこから共通点や相違点を見つけていく中で、自分の課題を設定できるようにする。また、過去の記念誌や記念行事の記録を見ることで、学校の伝統や歴史を再確認する。さらに、秋田で映像制作を中心に「本質的な豊かさ」「地域よさ」を伝えようと奮闘している方々を講師に招き、「ものの見方・考え方」や「生き方」を学ぶことを通して、この学習を終えた時に自分の生き方について考えるきっかけを作る。また、個々で学びの方向を設定できるように、講師へのインタビューの時間も取り、映画制作への興味・関心を引き出していく。

企画を進める段階では、プロジェクトごとにインターネットやインタビュー、資料などあらゆるものを活用し、情報収集する時間を設ける。また、イベントチームは、実践に向けて校長や副校長にプレゼンテーションしながら、自分の思いや願いを相手に分かりやすく伝える場も設ける。また、予想や理想、思い込みと現実との間に生じた「ズレ」を解決するために試行錯誤する時間も大事にすることで、自らの課題を見だし、より主体的な探究になる

ようにする。そのために意見交流の場を設けたり、即時的に交流できるような場や時間をコーディネートしたりする。映画制作チームは、卒業生にインタビューの依頼をしたり、実際のプロを講師にお招きし、アドバイスをいただいたりする場を設定する。卒業生との出会いや学校の歴史を辿る中で、自分自身も学校を創り上げ、つないできた存在であることに気が付き、今一度学校という学び舎が自分にとってどんな存在であるのかを考え、「愛校心」という概念を深めることができるようにする。

さらに、失敗することを恐れるのではなく、プロジェクトの実現に向けて試行錯誤しながら獲得した内容や方法を吟味しながら、自分のがんばりや成長を自覚できるようにする。

3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) プロジェクトを企画・運営・実践する活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れながら、自他のがんばりやよさに気付くことができる。 〈D-a, d〉
- (2) インタビューや記念誌、インターネットなど、様々な方法で情報を集め、整理・分析する活動を通して、プロジェクトの実現に向けての課題を解決する方法を考えることができる。 〈B-c, d, f〉
- (3) プロジェクトを企画・運営・実践する活動を通して、自分の願いを明確にして自分や周囲に適切に働きかけている。 〈C-c〉

4 単元の構想 (総時数 43 時間)

きりり みんなの笑顔があふれるまち ～函館で旅をつくろう～
 興味や関心に基づく自分のこだわりと仲間の考えを共有しながら研修計画を立て、秋田と比較しながら函館のよさに気付きまとめている。

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の主な支援	評価 (本校の資質・能力との 関連)
1	(1) オリエンテーションを通して学習の見通しをもつ。	・学習の見通しができるように、150周年からイメージするキーワード(歴史、イベント、いちご、伝統など)を出し合う活動を設定する。	・150周年をお祝いするために、自分たちができそうなことを考えている。(A-a)
2 3	(2) みんなのアイデアで共通していたものや、よいと思うものを吟味し、立ち上げるプロジェクトを決定する。	・強い思いをもってプロジェクトを立ち上げることができるように、何のためにその活動がしたいのかを問いかけながら、自己決定をする場を設ける。	・自分や友達が出したお祝いするためのプロジェクトを認め、自分が進めていきたいプロジェクトを設定する。(B-b)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 学校の150周年をお祝いし、学校を盛り上げていくためにはどんなことができるのか。 </div>			
4	(3) 自分が主に携わるプロジェクトを決定する。	・プロジェクト間のつながりを作るために、進捗状況を報告したり、意見を吸い上げたりする場を設ける。	・これからプロジェクトを進めるにあたり、取り組んでおかないといけないことや必要なことを考えている。(B-c, C-a)
5 ～ 40	(4) プロジェクトを企画する上で必要なことを話し合い、準備したことを基に企画を実行する。	・思いをもってものづくりをするとはどういうことか知ることができるように、実際に地域で活躍している方との出会いの場を設ける。	・プロジェクトにもとづいて、対象に応じて、必要なことを調べている。(B-c, B-d, C-b)
25 本 時	プロジェクト	主な活動	主な支援
	学校 かくれんぼ	・実施方法の検討 ・企画のプレゼン ・番組への応募 ----- ・全校でかくれんぼの実施 (お試し・本番)	・実現に向けて、何が必要かを客観的な意見を聞くことができるように校長先生へのプレゼンの場を設ける。 ・今の考えで全校のみんなが本当に楽しむことができるか、他学年の友達とも協力できる内容になっているか、さらに実現可能な形になっているかを問い返す。
	逃走中	・実施方法の検討 ・企画のプレゼン ・お試しの活動 ----- ・全校で逃走中の実施	・自分たちの計画が実行可能かどうか判断できるようにお試しの活動を行う場を設ける。 ・今の自分たちの考えでみんなが最初から最後まで本当に楽しむことができるか、友達とのよりよい交流の場を作れているのか、さらに実現可能な形になっているかを問い返す。
	ギネス記録	・実施方法の検討 ・事前アンケート ・企画のプレゼン ----- ・集会の運営	・実現に向けて、どんなことが必要なかを問いかけながら進める。 ・様々なパターンを想定して集会に臨むことができるように、達成できなかった際の集会の閉じ方や、その後のことについてなどを具体的に考える場を設ける。
	いちご作り	・実施方法の検討 ・企画のプレゼン ・購入計画、購入 ----- ・いちごの栽培 ・育てたいちごを使った企画活動	・今年度中に実行に移すためには、今どんなことが必要かを問いかけながら助言をする。 ・生育状況次第で活動計画や内容が変化することを意識できるように、計画通りに育てているかいちごの観察する場を設け、必要に応じて計画の修正を促す。
・150周年のお祝いに向けて、自分たちが必要であると思う対象に働きかけ、情報収集・整理をしたり、計画についてプレゼンテーションをしたりしながら、自分や周囲に対しても適切に働きかけようとしている。(B-c, B-d, B-e, B-f, B-g, C-b) ・自分たちの活動を振り返り、この取組を全校に広げていくにはどうしていけばよいか考えている。(C-a, C-c)			

プロジェクト	主な活動	主な支援
横断幕作り	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン案検討 ・デザインの交渉 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・お披露目会の運営 ・横断幕を飾る 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のイメージをもてるように過去のデザインを見せる。 ・みんなが150周年をお祝いする気持ちになるにはどう集会を進めるとよいかイメージできるように、質問したり、助言したりする。
ランタン作り	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法の検討 ・企画のプレゼン ・購入計画、購入 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・集会の運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画を具体化させるために、どのような場面で、誰に見せたいのかを考える場を設ける。 ・「お祝い」や、「みんなで」ということを意識できるように、作り方やデザインを考える場を設ける。
キャラクター作り	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート制作 ・キャラクター募集 ・記念品の計画 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・お披露目会の運営 ・グッズ作り、配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校を巻き込んだ企画にできるように意見の吸い上げ方について助言する。 ・単発の活動にならないようにするために、今後キャラクターをどのように活用していくのかイメージをもてるよう助言する。
記念歌作り	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート制作 ・歌詞作り ・デモテープ録音 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・歌の作成 ・全校合唱の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校を巻き込んだ企画にできるように意見の吸い上げ方について助言する。 ・アンケートの言葉の羅列でなくなるように、記念歌に込めたい思いを想起するよう助言する。
映画作り	<ul style="list-style-type: none"> ・制作の仕方を知る ・企画及び脚本作成 ・依頼状作成 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・映画の撮影・編集 ・映画の上映 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的な活動となるように、映像制作会社とのつながりをつくり、いつでも相談できる環境を整える。 ・活動にズレが生じないようにするために、担当ごとに進捗状況をすり合わせ、伝えたいことは何か確認する場を設ける。

41 (6) 他のチームも含め、自分
42 たちの活動がどうであった
か振り返る。
・学校かくれんぼを楽しんでくれた
だけじゃなくて、みんなが自然と協
力していてよかったね。
・映画を見て、附属小を卒業した人
の思いを知ることができたとし、学
校はいいなって改めて思ったよ。

43 (7) 150周年プロジェクト
を通して学んだことや今後の
展望について、まとめる。
・これからイチゴ栽培が続くよう
にちゃんと引き継ごう。
・私も卒業生として小学校に来て、
みんなのために何かができるとい
いな。

・自他ともに満足し、活動を終えられていたかを確認するために、下学年、教職員からの感想も提示する。

・みんなの力で成し遂げたことでついた自信や自分たちが秘めている可能性を小学校内のことで終わらせるのではなく、地域や将来的な場で発揮していくことができるように、「受容」や「行動」等の考え方を今後どのように生かしていきたいか考える場を設ける。

・学校として150周年をお祝いすることができたかを調べたり考えたりしている。
(D-a、D-b)

・150周年のお祝いプロジェクトを通して、自分自身の変容や成長、がんばりに気付き、これからの生活について考えている。
(D-h、D-d)

◎本単元で育む主な資質・能力

自他のがんばりやよさに気付き、互いの成長をこれからの生活に生かしていこうとする。(D-d)

ありがとうを伝えようⅢ ～みんなの笑顔があふれる学校～

みんなが笑顔で楽しく参加できる活動にするために、必要な工夫や自分ができることを考え、行動しようとしている。

5 本時の実際 (25/43)

(1) ねらい 学校が創立150周年の節目であることに着目し、自分たちが学校のためにできると思うことを企画する活動を通して、自分や周囲に対して適切に働きかけることができる。〈B-c、B-d、B-e、B-f、B-g、C-c〉

(2) 展開

○「学びのものさし」を働かせて省察したり、自律的に学習を進めたりするための支援

時間	学習活動	教師の支援 評価						
5分	<p>① 学習の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて 150周年をお祝いし、盛り上げるための企画を進めよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 課題意識や目的意識をもって学習に取り組むことができるように、グループごとの活動内容を共通理解する時間を設ける。 						
35分	<p>② 各プロジェクトごとに活動を進める（下記は一例）。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; border-right: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">逃走中プロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【自分たちが楽しいと思うことだけに着目し、目的を意識できていない】 ・お試しの時に、ミッションでドッジボールを取り入れて盛り上がったから、他学年も盛り上がるよね。</p> <p>【お試したことを生かして、参加者を意識して、意見を伝えている】 ・1年生が逃走中で逃げるときに階段があると危ないから、低学年がやる時は逃走エリアに階段がないようにしよう。 ・6年生でも守れない人がいたのに、低学年で「走らない」というルールを守れるかな？危険ではないだろうか。</p> <p>【目的を意識して発言している】 ・このルールだったら、みんなの思い出に残りそうだね。</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">学校かくれんぼプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【やりたいことだけに着目して、活動全体の妥当性や整合性が取れていない】 ・学校かくれんぼするときに勝手に入っちゃいけない教室は、立ち入り禁止にして、隠れる先生を20人にしよう。</p> <p>【目的を意識して、意見を伝えている】 ・学校かくれんぼのときに、みんなで楽しんだっていう思い出が残せるように、縦割り班で先生を探すといいと思うよ。</p> <p>【新たな課題に直面したときに、今までの活動で培ったことを生かして意見を伝えている】 ・伝統的に行ってきた「ウォークラリー」と学校かくれんぼをコラボすると、今までやってきたことも生かすことができるね。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px dashed black; vertical-align: top; border-right: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ランタン作りプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【やりたいことだけに着目して、目的が曖昧である】 ・ランタンを150個作って、いろんなところに飾りたい。</p> <p>【プロジェクトを立ち上げた目的に着目して、意見を伝えている】 ・全校でお祝いするために、子どもたち全員でランタンを作りたいね。 ・ランタンは1人でつくるのは低学年の子は難しいだろうから、縦割り班で集まって作るようにしよう。</p> </td> <td style="border-top: 1px dashed black; vertical-align: top; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">映画作りプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【自分たちが楽しいと思うことだけに着目し、目的を意識できていない】 ・ドラマパートでこういうエピソードがあるとおもしろいよね。</p> <p>【プロジェクトを立ち上げた目的に着目して、意見を伝えている】 ・ドラマパートが多くて、ドキュメンタリーパートが少なくなってるよ。このままだと、150周年プロジェクトのことも附属小学校のことも伝わらないよ。 ・先輩たちが話してくれた内容について、みんなはどんな考えをもったのかを残しておくことで、ぼくたちも次につなげるといことになるんじゃないかな。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px dashed black; vertical-align: top; border-right: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">いちご作りプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【やりたいことだけに着目して、目的が曖昧である】 ・いちごを育てるのが難しいから、育てるのではなく、いちごを買ってこの後の活動を進めていこう。</p> <p>【新たな課題に直面したときに、今までの活動で培ったことを生かして意見を伝えている】 ・いちごが暑さでダメになりやすいから、暑さ対策や水の量を考えながら新たに育てて、来年にいちごの苗をつなげよう。</p> </td> <td style="border-top: 1px dashed black; vertical-align: top; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">キャラクター作りプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【やりたいことだけに着目して、活動全体の妥当性や整合性が取れていない】 ・キャラクターが入ったグッズを作ることができたから、あとはみんなに配って終わりだね。</p> <p>【プロジェクトを立ち上げた目的に着目して、意見を伝えている】 ・グッズは作れそうだけど、他にもこのキャラクターを使ってできないかな。</p> </td> </tr> </table>	<p style="text-align: center;">逃走中プロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【自分たちが楽しいと思うことだけに着目し、目的を意識できていない】 ・お試しの時に、ミッションでドッジボールを取り入れて盛り上がったから、他学年も盛り上がるよね。</p> <p>【お試したことを生かして、参加者を意識して、意見を伝えている】 ・1年生が逃走中で逃げるときに階段があると危ないから、低学年がやる時は逃走エリアに階段がないようにしよう。 ・6年生でも守れない人がいたのに、低学年で「走らない」というルールを守れるかな？危険ではないだろうか。</p> <p>【目的を意識して発言している】 ・このルールだったら、みんなの思い出に残りそうだね。</p>	<p style="text-align: center;">学校かくれんぼプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【やりたいことだけに着目して、活動全体の妥当性や整合性が取れていない】 ・学校かくれんぼするときに勝手に入っちゃいけない教室は、立ち入り禁止にして、隠れる先生を20人にしよう。</p> <p>【目的を意識して、意見を伝えている】 ・学校かくれんぼのときに、みんなで楽しんだっていう思い出が残せるように、縦割り班で先生を探すといいと思うよ。</p> <p>【新たな課題に直面したときに、今までの活動で培ったことを生かして意見を伝えている】 ・伝統的に行ってきた「ウォークラリー」と学校かくれんぼをコラボすると、今までやってきたことも生かすことができるね。</p>	<p style="text-align: center;">ランタン作りプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【やりたいことだけに着目して、目的が曖昧である】 ・ランタンを150個作って、いろんなところに飾りたい。</p> <p>【プロジェクトを立ち上げた目的に着目して、意見を伝えている】 ・全校でお祝いするために、子どもたち全員でランタンを作りたいね。 ・ランタンは1人でつくるのは低学年の子は難しいだろうから、縦割り班で集まって作るようにしよう。</p>	<p style="text-align: center;">映画作りプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【自分たちが楽しいと思うことだけに着目し、目的を意識できていない】 ・ドラマパートでこういうエピソードがあるとおもしろいよね。</p> <p>【プロジェクトを立ち上げた目的に着目して、意見を伝えている】 ・ドラマパートが多くて、ドキュメンタリーパートが少なくなってるよ。このままだと、150周年プロジェクトのことも附属小学校のことも伝わらないよ。 ・先輩たちが話してくれた内容について、みんなはどんな考えをもったのかを残しておくことで、ぼくたちも次につなげるといことになるんじゃないかな。</p>	<p style="text-align: center;">いちご作りプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【やりたいことだけに着目して、目的が曖昧である】 ・いちごを育てるのが難しいから、育てるのではなく、いちごを買ってこの後の活動を進めていこう。</p> <p>【新たな課題に直面したときに、今までの活動で培ったことを生かして意見を伝えている】 ・いちごが暑さでダメになりやすいから、暑さ対策や水の量を考えながら新たに育てて、来年にいちごの苗をつなげよう。</p>	<p style="text-align: center;">キャラクター作りプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【やりたいことだけに着目して、活動全体の妥当性や整合性が取れていない】 ・キャラクターが入ったグッズを作ることができたから、あとはみんなに配って終わりだね。</p> <p>【プロジェクトを立ち上げた目的に着目して、意見を伝えている】 ・グッズは作れそうだけど、他にもこのキャラクターを使ってできないかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループでの活動が進みやすくなるように、T1～T4が進捗状況を確認し、適宜話合いに参加したり、助言したりする。 ○他者からの意見や評価をもらいやすくするために、意見交流の場を設けたり、即時的に交流できるような場や時間をコーディネートしたりする。 自分たちの考えが実現するとどうなるかイメージしやすくなるように、具体物を準備したり、試すことができる場を設けたりする。 活動の活性化を図るために、他のプロジェクトグループから率直に意見を得たり、自分たちの話し合いが目的とずれていないかを検討したりしているグループを取り上げる。 それぞれのグループのよさが他のグループにも影響を与えていくことができるように、各グループが活動計画を修正したり検討し直したりしている理由を共有し、目的を意識したり今まで培ってきたことを生かしたりして活動しようとしている姿を価値付けていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">150周年のお祝いに向けて、自分たちが必要であると思う対象に働きかけ、情報収集・整理をしたり、計画を見直したりしながら、自分や周囲に対しても適切に働きかけている。 〈B-c、B-d、B-e、B-f、B-g、C-c〉 (発言・学習シート・行動観察)</p> </div>
<p style="text-align: center;">逃走中プロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【自分たちが楽しいと思うことだけに着目し、目的を意識できていない】 ・お試しの時に、ミッションでドッジボールを取り入れて盛り上がったから、他学年も盛り上がるよね。</p> <p>【お試したことを生かして、参加者を意識して、意見を伝えている】 ・1年生が逃走中で逃げるときに階段があると危ないから、低学年がやる時は逃走エリアに階段がないようにしよう。 ・6年生でも守れない人がいたのに、低学年で「走らない」というルールを守れるかな？危険ではないだろうか。</p> <p>【目的を意識して発言している】 ・このルールだったら、みんなの思い出に残りそうだね。</p>	<p style="text-align: center;">学校かくれんぼプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【やりたいことだけに着目して、活動全体の妥当性や整合性が取れていない】 ・学校かくれんぼするときに勝手に入っちゃいけない教室は、立ち入り禁止にして、隠れる先生を20人にしよう。</p> <p>【目的を意識して、意見を伝えている】 ・学校かくれんぼのときに、みんなで楽しんだっていう思い出が残せるように、縦割り班で先生を探すといいと思うよ。</p> <p>【新たな課題に直面したときに、今までの活動で培ったことを生かして意見を伝えている】 ・伝統的に行ってきた「ウォークラリー」と学校かくれんぼをコラボすると、今までやってきたことも生かすことができるね。</p>							
<p style="text-align: center;">ランタン作りプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【やりたいことだけに着目して、目的が曖昧である】 ・ランタンを150個作って、いろんなところに飾りたい。</p> <p>【プロジェクトを立ち上げた目的に着目して、意見を伝えている】 ・全校でお祝いするために、子どもたち全員でランタンを作りたいね。 ・ランタンは1人でつくるのは低学年の子は難しいだろうから、縦割り班で集まって作るようにしよう。</p>	<p style="text-align: center;">映画作りプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【自分たちが楽しいと思うことだけに着目し、目的を意識できていない】 ・ドラマパートでこういうエピソードがあるとおもしろいよね。</p> <p>【プロジェクトを立ち上げた目的に着目して、意見を伝えている】 ・ドラマパートが多くて、ドキュメンタリーパートが少なくなってるよ。このままだと、150周年プロジェクトのことも附属小学校のことも伝わらないよ。 ・先輩たちが話してくれた内容について、みんなはどんな考えをもったのかを残しておくことで、ぼくたちも次につなげるといことになるんじゃないかな。</p>							
<p style="text-align: center;">いちご作りプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【やりたいことだけに着目して、目的が曖昧である】 ・いちごを育てるのが難しいから、育てるのではなく、いちごを買ってこの後の活動を進めていこう。</p> <p>【新たな課題に直面したときに、今までの活動で培ったことを生かして意見を伝えている】 ・いちごが暑さでダメになりやすいから、暑さ対策や水の量を考えながら新たに育てて、来年にいちごの苗をつなげよう。</p>	<p style="text-align: center;">キャラクター作りプロジェクト</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【やりたいことだけに着目して、活動全体の妥当性や整合性が取れていない】 ・キャラクターが入ったグッズを作ることができたから、あとはみんなに配って終わりだね。</p> <p>【プロジェクトを立ち上げた目的に着目して、意見を伝えている】 ・グッズは作れそうだけど、他にもこのキャラクターを使ってできないかな。</p>							
5分	<p>③ 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後の活動の見通しをもてるように次の課題を確認したり、自他の変化に気付くことができるように振り返ったりする場を設ける。 						

令和6年度 はばたき学習（総合的な学習の時間）実践・研究計画

部 員	○井上 駿太、猿田 千穂子、稲垣 勇介、中田 貴広
-----	---------------------------

研究テーマ

自ら見いだした課題について、作り出した自分にとっての答えとしての概念を基に、よりよい方法を用いて探究していく子どもを育む学び

1 研究テーマについて

昨年度までの実践で、他者評価を受ける場を設定することで、形成した自分なりの答えである概念に他者とのずれがあることに気付き、更なる課題解決に向けての方向性を見いだし探究に向かっている子どもの姿が見られた。一方で、他者評価に気を取られるあまり、自分の思いや願いに妥協して課題解決に向かってしまう姿も見られた。また、新たに探究活動を進める際、これまで形成した概念や一度使った考えるための技法をどのように活用するかなど、課題解決の方法によさを実感し、必要感をもって用いることに課題が見られた。

こうした成果と課題を踏まえ、はばたき学習部は、子どもが作り出した概念を基に課題解決に向かっていることを目指し、本研究テーマで実践を積み重ねていく。

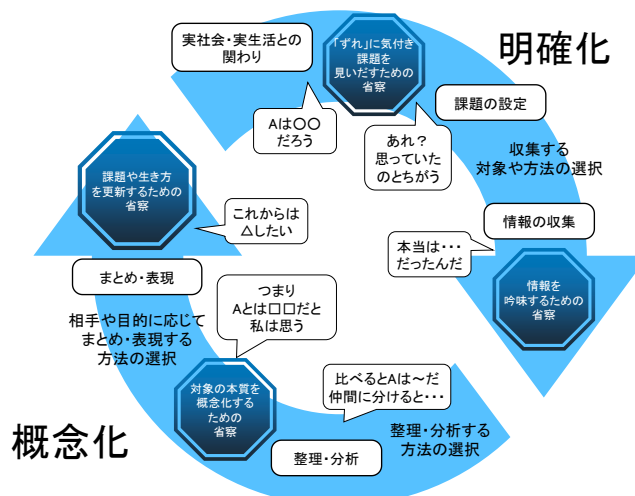
はばたき学習で目指す自律した子どもの姿

- ・「人・もの・こと」と関わりながら、予想や理想、思い込みと現実との「ずれ」に気付き、自ら課題を見いだす姿
- ・よりよい方法や視点を用いて探究する中で対象を明確に捉えていく姿
- ・対象や解決方法について学んだことを自分の言葉で意味付け、次の学びに活かす姿

他者評価において、全員統一の形式を用いるのではなく、自分の思いや願いに応じた評価の観点を各自が考え、作成することで、他者評価の目的と結果をより自分事として捉えられると考える。これにより、他者の考えを吟味せずそのまま受け入れるのではなく、取捨選択をし、自分の思いや願いにこだわりをもって主体的に探究を進める意欲につながり、自分なりの答えによって、深みのある概念が形成されることが期待できる。

そして新たな概念が、他単元や他教科にもつながり、はばたき学習以外の場面でも生きてはたらく実感を得られることで、更に高次元な概念として更新されていくと考える。

考えるための技法においては、よさを理解した上でよりよいものを選択できるようにすることで、必要感をもって活用できると考える。また、単元構想と配列を工夫し、他教科や行事などと意図的につながりをもたせることで、考えるための技法を活用する場面を設定する。これにより自分の学びが意味あるものだったと実感し、探究の意味や価値の実感にもつながると考える。



図：はばたき学習 自律した学習者を育てる学習のプロセス

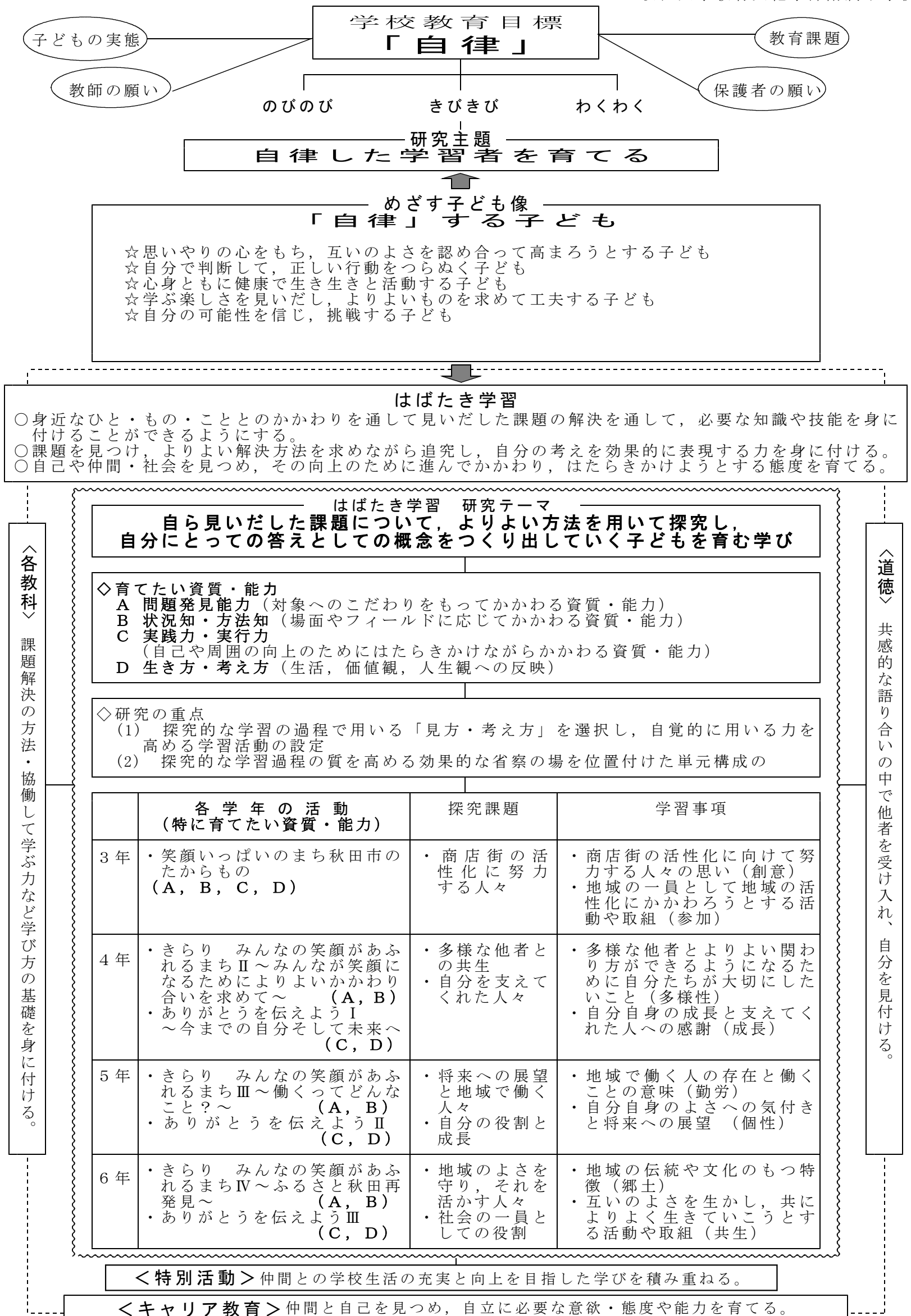
2 研究の重点 〈○は具体的な取組の例〉

探究する意味や価値、よさを見いだしながら、自分なりの答えである概念を基に、新たな探究につなげていくための支援の工夫

- 自分の思いや願いにこだわりをもって探究を続けていけるように、自分が必要とする観点の評価項目や評価相手を考え、必要感のある省察につながる他者評価の場を設定する。
- 概念更新を実感し、蓄積してきた概念や考えるための技法を活用して探究を進められるように、単元間や他教科間につながりのある単元構想と単元配列の工夫をする。

令和6年度 はばたき学習（総合的な学習の時間）全体計画

秋田大学教育文化学部附属小学校



3年生の総合的な学習の時間で身に付けたい「資質・能力」

a 問題発見 ＜A問題発見力＞	先行経験を活かして対象とかかわり、自分で問題を見付ける。
b 課題設定 ＜B状況知・方法知＞	教師の支援のもとに、疑問に感じたことを課題につなげる。
c 計画 ＜B状況知・方法知＞	解決の方法や手順を、学級やグループで相談しながら立てる。
d 情報収集 ＜B状況知・方法知＞	課題に応じた情報収集方法（インタビュー、図書資料、インターネット等）で情報を集める。
e 整理分析 ＜B状況知・方法知＞	収集した情報の中から大切な情報を選択する。
f まとめ 表現 ＜B状況知・方法知＞	言語、表、グラフ、図、音楽など様々なものから選択して、相手に伝わりやすい方法、自分自身の考えがまとめやすい方法で表現する。
g 報告・発表・ 討論 ＜B状況知・方法知＞	写真や図を用いてキーワードを示しながら説明する。
h 学ぶ意味や 価値 ＜D生き方・考え方＞	学習を始める前との自分の考えや意見の違いに気付く。
a 意思決定 ＜C実践力・実行力＞	これからのことを考えながら、今、自分にとって必要なことは何かを考える。
b 課題解決 ＜C実践力・実行力＞	対象となる人・自然・社会に適応したマナーや方法でかかわる。
c 実践力 ＜C実践力・実行力＞	自分の願いをもって、自分なりにできる働きかけをする。
d 生き方 ＜D生き方・考え方＞	自分のがんばりやよさに気付き、これからの生活について考える。
a 受容 ＜D生き方・考え方＞	異なる意見や他者の考えを受け入れる。
b 協働 ＜D生き方・考え方＞	互いのよさを見付け合いながら、協力して活動する。
c 環境 (人、社会、自然) ＜D生き方・考え方＞	地域を見直し、そのよさを感じながら、対象に働きかける。

総合的な学習の時間の学びを深める「見方・考え方」

- ・各教科等における「見方・考え方」を総合的に活用して、実社会や実生活における事象に着目し、多様な角度から考えたり、実社会や実生活の文脈、自己の生き方と関連付けて考えたりする。

4年生の総合的な学習の時間で身に付けたい「資質・能力」

a 問題発見 ＜A問題発見力＞	先行経験を活かして対象とかかわり、自分で問題を見つける。
b 課題設定 ＜B状況知・方法知＞	教師の支援を生かしながら、疑問に感じたことを課題につなげる。
c 計画 ＜B状況知・方法知＞	解決の方法や手順を学級やグループで相談しながら立てる。
d 情報収集 ＜B状況知・方法知＞	課題に応じた様々な情報収集方法（インタビュー、図書資料、インターネット等）で情報を集める。
e 整理分析 ＜B状況知・方法知＞	収集した情報の中からキーワードを中心に大切な情報を選択する。
f まとめ・表現 ＜B状況知・方法知＞	言語、表、グラフ、図、音楽など様々なものから選択して、相手に伝わりやすい方法、自分自身の考えがまとめやすい方法で表現する。
g 報告・発表・ 討論 ＜B状況知・方法知＞	写真や図を用いてキーワードを示しながら説明する。
h 学ぶ意味や価値 ＜D生き方・考え方＞	学習を始める前との自分の考えや意見の違いに気付く。
a 意思決定 ＜C実践力・実行力＞	これからの学習内容や方法を考えながら、自分にとって必要なことを決める。
b 課題解決 ＜C実践力・実行力＞	対象となる人・自然・社会に適応したマナーや方法でかかわる。
c 実践力 ＜C実践力・実行力＞	自分の願いをもって、これからの生活において自分なりにできる働きかけをする。
d 生き方 ＜D生き方・考え方＞	自分のがんばりやよさに気付き、これからの生活について考える。
a 受容 ＜D生き方・考え方＞	異なる意見や他者の考えに耳を傾け、受け入れる。
b 協働 ＜D生き方・考え方＞	仲間によさを見付け、互いによさを活かしながら活動する。
c 環境 (人、社会、自然) ＜D生き方・考え方＞	地域を見直し、そのよさを感じながら、対象に働きかける。

総合的な学習の時間の学びを深める「見方・考え方」

- ・各教科等における「見方・考え方」を総合的に活用して、実社会や実生活における事象に着目し、多様な角度から考えたり、実社会や実生活の文脈、自己の生き方と関連付けて考えたりする。

5年生の総合的な学習の時間で身に付けたい「資質・能力」

a 問題発見 ＜A問題発見力＞	目的に応じて対象に対するかかわり方を変え、吟味・修正しながら、問題を見つける。
b 課題設定 ＜B状況知・方法知＞	自分や友達の問題を大切にしたり、予想にもとづいたりしながら、課題を設定する。
c 計画 ＜B状況知・方法知＞	解決の方法や手順について自分で考えたり、友達と相談したりしながら立てる。
d 情報収集 ＜B状況知・方法知＞	自分が調べたいテーマに応じて様々な情報収集方法（インタビュー、図書資料、インターネット等）で情報を集める。
e 整理分析 ＜B状況知・方法知＞	収集した情報の中からキーワードを中心に大切な情報を選択する。
f まとめ・表現 ＜B状況知・方法知＞	言語、表、グラフ、図、音楽など様々なものから選択して、相手に伝わりやすい方法、自分自身の考えがまとめやすい方法で表現する。
g 報告・発表・ 討論 ＜B状況知・方法知＞	発表会や情報交換の規模、発表の仕方に応じた準備を整えたり、写真や図を用いてキーワードを示しながら説明したりする。
h 学ぶ意味や価値 ＜D生き方・考え方＞	学習を始める前と後での自分の考えや意見の違いに気付き、自らの成長ととらえる。
a 意思決定 ＜C実践力・実行力＞	これからの学習内容や方法を吟味しながら、自分にとって必要なことを決める。
b 課題解決 ＜C実践力・実行力＞	計画にもとづいて対象となる人・自然・社会の様子に応じてかかわり解決する。
c 実践力 ＜C実践力・実行力＞	自分の願いをもって自分や周囲に対して適切に働きかける。
d 生き方 ＜D生き方・考え方＞	自分のがんばりやよさに気付き、成長をこれからの自分の生活に生かしていこうとする。
a 受容 ＜D生き方・考え方＞	学習を通して共通性、法則性を見付けたり、異なる意見や他者の考えを受け入れたりする。
b 協働 ＜D生き方・考え方＞	仲間よさを見付け、互いの知恵を生かしながら活動する。
c 環境 (人、社会、自然) ＜D生き方・考え方＞	自分たちの生活を見直し、そのよさを感じたり発見した課題を整理したりしながら対象に働きかける。

総合的な学習の時間の学びを深める「見方・考え方」

- ・各教科等における「見方・考え方」を総合的に活用して、実社会や実生活における事象に着目し、多様な角度から考えたり、実社会や実生活の文脈、自己の生き方と関連付けて考えたりする。

6年生の総合的な学習の時間で身に付けたい「資質・能力」

a 問題発見 ＜A問題発見力＞	目的に応じて対象に対するかかわり方を変え、吟味・修正しながら、問題を見つける。
b 課題設定 ＜B状況知・方法知＞	自分や友達の問題を大切にしたり、予想にもとづいたりしながら、課題を設定する。
c 計画 ＜B状況知・方法知＞	解決の方法や手順について自分で考えたり、友達と相談したりしながら立てる。
d 情報収集 ＜B状況知・方法知＞	自分が調べたいテーマに応じて様々な情報収集方法（インタビュー、図書資料、インターネットなど）で情報を集める。
e 整理分析 ＜B状況知・方法知＞	収集した情報の中からキーワードを中心に、自分の課題解決に大切な情報を選択する。
f まとめ・表現 ＜B状況知・方法知＞	言語、表、グラフ、図、音楽など様々なものから選択して、相手に伝わりやすい方法、自分自身の考えがまとめやすい方法で表現する。
g 報告・発表・ 討論 ＜B状況知・方法知＞	発表会や情報交換の規模、発表の仕方に応じた準備を整えたり、写真や図を用いてキーワードを示しながら説明したりする。
h 学ぶ意味や価値 ＜D生き方・考え方＞	学習を始める前と後での自分の考えや意見の違いに気付き、自らの成長ととらえる。
a 意思決定 ＜C実践力・実行力＞	これからの学習内容や方法を吟味しながら、今、自分が取り組んでおかなければならないことや必要なことを決める。
b 課題解決 ＜C実践力・実行力＞	計画にもとづいて対象となる人・自然・社会の様子に応じてかかわり解決する。
c 実践力 ＜C実践力・実行力＞	自分の願いを明確にして、自分や周囲に対して適切に働きかける。
d 生き方 ＜D生き方・考え方＞	自分のがんばりやよさに気付き、成長をこれからの自分の生活に生かしていこうとする。
a 受容 ＜D生き方・考え方＞	学習を通して共通性、法則性を見付けたり、異なる意見や他者の考えを受け入れたりする。
b 協働 ＜D生き方・考え方＞	仲間によさを見付け、互いの知恵や自他の学びの成果を生かしながら活動する。
c 環境 (人、社会、自然) ＜D生き方・考え方＞	自分たちの生活を見直し、そのよさを感じたり発見した課題を整理したりしながら対象に働きかける。

総合的な学習の時間の学びを深める「見方・考え方」

- ・各教科等における「見方・考え方」を総合的に活用して、実社会や実生活における事象に着目し、多様な角度から考えたり、実社会や実生活の文脈、自己の生き方と関連付けて考えたりする。